

令和3年度 麻溝地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	麻溝の地域遺産普及啓発事業 【 No. 1 】
申請団体	麻溝の地域遺産を未来につなぐ会
事業目的等	<p>◇事業目的</p> <p>麻溝地区の人たちが大切にしてきた貴重な地域遺産(麻溝地区の歴史・文化遺産、自然、景観など)をきちんと保存していくとともに、多くの人にその魅力を知ってもらうことが、地域に対する愛着につながり、さらに地域の振興やコミュニティの維持・発展にも資すると考える。</p>
交付決定日	令和3年9月29日
交付確定金額	331,000 円 (全体事業費 331,575 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年3月に移設・保存が実現した「旧麻溝村開墾記念碑」の普及啓発を図るため、周辺環境の整備、案内看板の設置、啓発用パンフレットの作成等を行うとともに、清掃活動を行った。 ・ 麻溝観光協会等と共催で、探訪ハイキング「石塔と川が語る～麻溝の魅力再発見！」を開催し、地域遺産の普及啓発に努めた。 ・ 令和3年12月に国土地理院の「自然災害伝承碑」に登録された「関東大震災崖崩れ復興記念碑」の案内看板を設置し、周知に協力した。 <p>◇自己評価</p> <p>今年度は、「旧麻溝村開墾記念碑」の保存と普及啓発を図るための環境づくりを中心として事業を実施した。この貴重な遺産を将来にわたって保存し、地域づくりの資源として活用できる環境が整ったことは大きな意味があると考えている。</p> <p>また、碑文に書かれた内容が中学校の副読本「私たちの相模原」にも掲載されているため、地区内の小・中学校にもパンフレットを配布し、児童・生徒の地域学習にも役立ててもらいたいと考えている。</p>
市 評 価	<p>地域の貴重な文化や歴史を保存し、後世に伝えていくことは、地域の魅力や関心を高め、地域の活性化につながる事業である。また、「旧麻溝村開墾記念碑」の保存と普及啓発を図るため作成したパンフレットは、戦時中の相模原台地の変遷がよく纏められている。次年度の取組みとして、小中学校や自治会等へのパンフレット配布を予定しており、地域に対する関心を深めるきっかけとして期待できる。</p> <p>次年度に向けた活動についても十分に協議されていることから、事業の継続・発展を期待したい。</p>
備 考	